

◆受講者の声（出前研修—DIG 地震版）

- ・ 演習時間（話し合い時間）をもう少し確保していただきたかった。
- ・ グループ討議の時間をもう少し長くにとって欲しい。
- ・ もう少し時間にゆとりがあれば議論も深まったと思います。
- ・ 同じ地域の複数の班で考えたほうが多くの気づきがあると思われる。
- ・ 同一地区ごとにテーブルを囲んだ方がよりよい話し合いができるような気がする。
- ・ 各組のメンバーは同地域の方がより具体的な検討になると思います。各地域での検討会ができるようにミニ版を作ってほしい。
- ・ もっと女性の参加や意見も必要。
- ・ 女性の参加者を多くしてもらった方が良い。
- ・ DIG事業の参画推進により人々の意識づけを構成すべき。
- ・ 災害により被災する地点は、多種多様である→HPなどで公開されているハザードマップ等をDIGに活用しては。
- ・ 参加者を入れ替えて何度も行ったらほうがよい。
- ・ 地域ごとで対策が異なる水害についてのDIGやHUGをやってもよいと思った。
- ・ 図上訓練に参加して役立てられるようにしたい。
- ・ 町住民の避難訓練の再開も含め訓練経験者の拡大を図るべき（EX：PTA、老人会、婦人会）。
- ・ 住民の意識UPをはかるのは、大変なことだと思います。頭の堅さ、町が助けてくれるという安心感が根強く、組織的に動くことが良いのではないかと思います。
- ・ この研修は「アソビ」ではない。命にかかわる事を主催者もはっきり言ったほうがよいのでは。
- ・ 要援護者の情報は特に入手が難しいが把握する努力は必要と思う。
- ・ 演習時間で説明を聞きながら取り組む実習の時間が短く、当日の演習が満足に出来なかった。進行が早く、作業が追い付かなかった。
- ・ 反省（自己反省です）：自分の地域がほとんど見えていないことがわかった。
- ・ 実地を回り、具体的な地図作成をすべきである。災害が起きた時、問題になるポイントを認識し、その対策を実行する。
- ・ 地図に色入れする作業も1件毎に丁寧に進行する。
- ・ 地域に起こる被害については、想定（今日の）以外のことも含めて討議することを伝える必要があったように思う。
- ・ 防災の基本は自助です。防災意識を高める努力が大事なことだと思います。
- ・ 地震体験をもっと体験してもらおう、特に東日本大震災、阪神淡路クラスの体験が是非必要。それを体験すればいかに家屋の補強、固定、避難路の確保が大事か良く分かると思います。自分の命は自分で守る意識がこれからますます大事になると思う。
- ・ 演習を始める前に今までの地震の様子ビデオを上映などして地震の恐ろしさを認識したら良いと思う。